

業務名：北海道価値創造パートナーシップにおけるグループコミュニケーションアプリ等を使用したプラットフォームの構築の検討に関する業務
 特定企業 企業名 株式会社北海道二十一世紀総合研究所
 住 所 札幌市中央区大通西3丁目11番地
 代表者 代表取締役社長 藤池 英樹
 決定日：令和4年10月26日

評価項目	評価の着目点			配点	企画提案書 株式会社北海道 二十一世紀総合 研究所	
	判断基準					
ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標の適合状況	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定等(えるぼし・プラチナえるぼし認定企業、一般事業主行動計画策定企業)			①5 ②4 ③3 ④2 ⑤1	0.0	
※複数の認定等が該当する場合、最も配点が高い区分により加点を行う。	次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみん・プラチナくるみん・トライくるみん認定企業)			①5 ②4 ③3 ④2 ⑤1		
	青少年雇用促進法に基づく認定(ユースエール認定企業)			4		
業務実施体制	業務分担及び業務実施体制の妥当性			10	10.0	
予定管理技術者の経験及び能力	専門技術力	業務執行力	過去10年間の同種又は類似業務の実績の内容	下記の順で評価する。 ① 平成24年度以降に同種業務の実績がある。 ② 平成24年度以降に類似業務の実績がある。 なお、業務実績がない場合は特定しない。	①10 ②5	10.0
予定担当技術者の経験及び能力	専門技術力	業務執行力	過去10年間の同種又は類似業務の実績の内容	下記の順で評価する。 ① 平成24年度以降に同種業務の実績がある。 ② 平成24年度以降に類似業務の実績がある。 ③ ①②以外	①5 ②2 ③0	5.0
実施方針・実施フロー・工程表・その他	業務理解度			目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	20	17.5
	実施手順			業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。	10	10.0
				業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	10	7.5
	その他			有益な代替案及び重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。	5	0.0
特定テーマに対する企画提案	的確性			必要な着眼点、問題点、解決方法等が網羅されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。	15	13.75
	実現性			提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。 提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。	15 5	12.5 5.0
参考見積	業務コストの妥当性			提示した業務規模と大きくかけ離れているか、又は提案内容に対して見積が不適切な場合には特定しない。	数値化しない。	妥当である
合 計				110	91.25	